

科目区分	専門基礎分野	授業科目	病理学総論
講師名	並河 徹	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	事前に配布した資料をスライドを見て完成させる形で授業を進めます。特に予習は必要ありませんが、(授業後でもよいので)教科書は読むようにしてください。		
目的: 疾病の原因や発生病理、形態と機能および代謝変化の原理を理解する。			
目標: 1. 健康から疾病に至る変化について理解できる。			
2. 疾病がもたらす身体内部の変化について理解できる。			
回	授 業 内 容		
1	1. 病理学とは (1章)	1) 病気の原因 ①内因 ②外因 ③公害病・医原病・職業がん 2) 疾病分類	
2	2. 細胞・組織の障害と修復 (2,3章)	1) 細胞の損傷と適応 2) 組織の修復と創傷治癒	
3・4	3. 生体の障害 1) 循環障害 (4章)	1) 浮腫 2) 充血とうっ血 3) 出血 4) 血栓症・塞栓症 5) 虚血と梗塞 6) 高血圧症 7) ショック 8) DIC	
5	2) 炎症と損傷 (5章)	1) 炎症とその分類	
6	3) 免疫 (6章)	2) 免疫と免疫不全	
7	3) 免疫 (6章)	3) アレルギーと自己免疫疾患	
8	4) 移植と再生医療 (2,3章 P83, 84)	4) 移植と再生医療	
9	5) 代謝障害 (8章)	1) 脂質代謝障害 2) タンパク質代謝異常 3) その他の代謝 ①ビリルビン代謝 ②黄疸の分類	
10	6) 老化と死 (9,13章)	1) 加齢に伴う諸臓器の変化 2) 個体の死 ①死の判定と死因の究明 ②脳死と植物状態	
11	7) 先天異常と遺伝子異常 (10,11章)	1) 先天異常 2) 遺伝子の異常と疾患	
12	8) 腫瘍 (12章)	1) 腫瘍の定義と分類	
12		2) 腫瘍の広がりと影響	
13		3) 腫瘍の発生機序	
14		4) 腫瘍の診断	
15 (45分)		5) 腫瘍の統計	
16 (45分)	終了試験		
授業方法	講義 (3校合同)		
評価方法	筆記試験 100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院: 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1]病理学		
参考図書	医学書院: 目で見るからだのメカニズム		
備考	特記なし		